2026 年 11 月 13 日

「岩手とデザインのいい関係～デザイナーと一緒に考える、地域のこれから～」の開催について

manorda いわて株式会社が後援する、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）岩手地区主催のトークイベント「岩手とデザインのいい関係～デザイナーと一緒に考える、地域のこれから～」が、2026 年 12 月 19 日（土）に開催されますのでお知らせします。

本イベントは、全国各地で地域社会のあり方について研究・実践してきた、株式会社日本総合研究所の井上岳一氏をゲストに迎え、地域の課題や魅力を捉え直し、人と人をつなぐデザインの役割について考えていきます。人口減少や人手不足など地域が抱える課題に向き合いながら、岩手の自然や文化、人のつながりをどのように活かし、地域の仕事や活動を次代につないでいくか、参加者の皆さまとともに考えます。

デザインに携わる方はもちろん、地域で仕事や活動をしている方、行政や企業で企画・創造・実践に取り組む方にもご参加いただけます。井上氏の講話を手がかりに、地域におけるデザインの可能性と岩手のこれからを考える機会として、ぜひご参加ください。

当社は、本イベントへの後援を通じて、地域の魅力や可能性を考え、発信する取り組みをともに進めてまいります。

記

1．日時

2026 年 12 月 19 日（土）14:00～15:30（13:30 開場）

2．場所

プラザおでって 大会議室（岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目 1-10）

3．開催概要

（1）イベント名：「岩手とデザインのいい関係～デザイナーと一緒に考える、地域のこれから～」
（2）ゲスト　　：株式会社日本総合研究所 創発戦略センター チーフスペシャリスト　井上岳一氏
（3）聞き手　　：木村敦子氏
（4）参加費　　：一般・学生 1,000 円／JAGDA 会員 無料
（5）定員　　：60 名
（6）申込方法　：申込フォームよりお申し込みください。
https://forms.gle/Y18W5Xi3GxdaZNpg6　申込フォーム▶

4．運営体制

主催：公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）岩手地区
後援：manorda いわて株式会社

5．本件に関するお問い合わせ先

manorda いわて株式会社　担当：内藤
TEL：019-624-8100

以　上

TALK EVENT

岩手とデザインのいい関係

～デザイナーと一緒に考える、地域のこれから～



2026.12.19 (土) 14:00-15:30（13:30開場）

会 場　**プラザおでって 大会議室**（岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10）

ゲスト　**井上 岳一**（株式会社日本総合研究所）　聞き手　**木村 敦子**

★イベントの詳細は裏面をご覧ください。

主催　公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）岩手地区

後援　manorda いわて株式会社

お申し込みはこちら

岩手とデザインのいい関係 ～デザイナーと一緒に考える、地域のこれから～

地域の「困った」を、これからのヒントに。

人口減少や人手不足など、地域にはさまざまな課題があります。一方で、豊かな自然や文化、人と人とのつながりなど、岩手にはたくさんの魅力もあります。今ある魅力をどう活かし、地域の仕事や活動をこれからにつなげていくか。そのヒントは、デザインにあるかもしれません。今回お迎えするのは、全国各地の地域に足を運び、人や自然、地域の営みから、これからの地域社会のあり方を考え、実践してきた井上岳一さん。全国の取り組みを手がかりに、地域の課題を捉え直すことや、人と人をつなぐこと、デザインにできることを一緒に考えます。



日時 2026.12.19 (土) 14:00-15:30 (13:30開場)

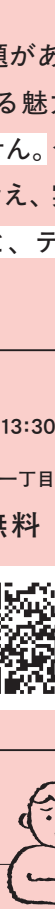
会場 プラザおでって 大会議室 (岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10)

参加費 一般・学生：1,000円／JAGDA会員：無料

定員 60名

申込 右記のQRコードを読み取り、フォームよりお申し込みください。

※ 表面に記載のQRコードと同じものになります



こんなことで悩んでいませんか？



△ 地域にいいものがあるのに、なかなか知られていない…

△ 人手が足りず、やりたいことがあっても手が回らない…

△ イベントを開いても、いつも同じ顔ぶれ。もっといろいろな人に来てもらいたい…

△ 地域の人を巻き込みたいけれど、どう関わってもらえばいいかわからない…

△ これまでの活動を、次の世代や新しい仲間につなげたい…



こうした地域の悩みや課題に、デザインの視点を取り入れることで、何か新しい可能性が見えてくるかもしれません。

このトークで考えること

◎ 地域に関わるとき、デザインの視点から大切にしたいこと

◎ 全国の実践から見えてくる、地域の可能性とデザインの役割

◎ 地域の課題や魅力に、デザインはどう関われるのか

◎ 岩手で生まれている取り組みや工夫を、これからの地域のデザインにどう活かせるのか



井上さんのお話を手がかりに、参加者のみなさんと一緒に「地域のデザイン」について考えます。デザインは、見た目を整えるだけでなく、人と人をつなぎ、物事の捉え方を変え、新しい活動を生み出すことにもつながります。デザインに携わる方はもちろん、地域で仕事や活動をしている方、これから何か始めてみたい方も、ぜひお気軽にご参加ください。



ゲスト 井上 岳一 いのうえ たけかず

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター チーフスペシャリスト

1969年生。東京大卒。林野庁、Cassina IXCを経て現職。人口減少下でも豊かに生きられる地域社会のデザインをテーマに研究・実践活動に従事。日本デザイン振興会「山水郷チャンネル」及び「山水郷のデザイン」の共同ディレクターを務める。2022年に武蔵野美術大学との共同研究拠点「自律協生スタジオ」を開設。以来、学生や教師と共に地域に入り続けている。著書に『日本列島回復論　この国で生き続けるために』(新潮選書、2019年)、共著書に『コンヴィヴィアル・シティ　生き生きした自律協生の地域をつくる』(学芸出版、2025年)等。南相馬市復興アドバイザー。内閣府規制改革推進会議専門委員。武蔵野美術大学客員研究員・特別講師。

今回のテーマにつながる１冊



『日本列島回復論』 井上 岳一 著

人口減少や格差など、先行きが見えない日本社会。自然や歴史、地域のつながりに目を向け、地方に眠る可能性を再発見する。山水郷の知恵と新たな技術を生かし、この国で持続的に生きていくための社会のあり方を問い直す一冊です。(新潮社)

日本総合研究所 とは？

企業や行政とともに、社会の課題を調べ、解決策を考え、実現に向けて取り組む会社です。経済や社会の調査・分析から、新しい事業づくり、ITの仕組みづくりまで、幅広い分野で社会を支えています。



聞き手 木村 敦子 きむら あつこ

デザイナー、編集者。LLPまちの編集室メンバーとして、盛岡の地域誌「てくり」の編集・発行を行う。「いわて羊を未来に生かす―アイウールプロジェクト」で2020年グッドデザイン賞受賞。日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)会員。

日本グラフィックデザイン協会 とは？

1978年に設立された、日本で唯一のグラフィックデザイナーの全国組織です。現在、約3,000名の会員が在籍しています。岩手地区には24名の会員がおり、地域のデザインの質を高めることを目指して活動しています。

https://www.jagda.or.jp

主催 公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)岩手地区　後援 manordaいわて株式会社

お問い合わせ JAGDA 岩手地区事務局　株式会社ホームシックデザイン（代表幹事：牧野沙紀）

〒020-0024 岩手県盛岡市菜園 1-8-15 パルクアベニュー・カワトク cubeⅡ B1F　Mail：makinosaki@homesickdesign.com

JAGDA IWATE